

2016年2月実績概要（メモ）

（2016. 3. 17）

日数減や定修入りから、主要石化製品の生産は多くの品目で減少。

1. 生産動向

イ) エチレン 537, 300トン

前月比 ▲10.6% (▲63,600トン)

前年同月比 ▲4.9% (▲27,900トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲6.5%	+3.6%
定修要因等	+1.9%	▲0.2%
能力増減	▲3.0%	▲8.0%
稼働率変動	▲3.0%	▲0.3%
生産増減率	▲10.6%	▲4.9%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月97.4%→当月94.3%←前年同月94.6%

定修プラント：前月なし→当月なし←前年同月なし

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、主に日数の減少や春の定修入りもあり LD、HD、PP、SM、塩ビモノマー、AN、SBR、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの14品目がマイナス。前月に生産が減少した EO、EG などの3品目はプラスとなった。

前年比では、うるう年に伴う日数増と稼働率要因から LD、PP、PS、塩ビ樹脂、EO、ベンゼン、キシレンなどの8品目がプラス。HD、SM、SBR、BR などの9品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数の減少を主として、PP でマイナスとなるとともに LD、HD では定修入りも加わり大幅なマイナスとなった。PS は稼働率要因から若干のプラスとなった。

前年比では、日数の増加等から LD、PP、PS でプラス、HD は稼働率要因からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比は、年始休暇のあった前月に対して、当月は営業日数の増加もあり LD、HD、PP でプラスとなった。PS は前月の出荷が高めであったこともあり、当月はマイナスとなった。

前年比では、前年は原料面での急速な環境変化が収束しつつあったが、出荷量ベースでは例年並みか若干下回る出荷であった。これに対して、当年は LD、PP で特にフィルム分野の出荷が増加しプラスとなった。また、PS では包装分野を中心に全出荷分野で出荷量が増加しプラスとなった。

ハ) 輸出

前月比では、中国の旧正月休暇の中、前月の輸出がやや低調であったこともあり、LD、PP、PS でプラスとなった。前年比では PS がプラスとなる一方で、国内出荷との兼ね合いもあり HD、PP では大幅なマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD で減少し、PP、PS は増加した。在庫率(季節調整済)は前月に対して LD、PP でやや低下、HD は前月並み、PS は更に上昇した。在庫水準としては、LD、HD、PP、PS ともやや高めとなっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		1月末	2月末
LD	▲7,900	3.0	2.8
HD	▲300	3.1	3.1
PP	+3,600	2.8	2.7
PS	+9,000	1.7	1.8

以上